

ひまわり



令和4年8月29日(月)

足るを知る

ほしい

先日、大型ショッピングセンターに出かけました。そこに行けば、食料品はもちろん、衣料品、書籍、電化製品など、あらゆるものを見ることができます。週末ともなれば、多くの人が賑（にぎ）わっています。流行を知るためにも、ウィンドショッピングをしたかったのですが、新型コロナが気にかかり、必要なものだけ購入してとっとと帰りました。

いつもそこに行くと、日本は物質的に豊かな国だと感じます。溢（あふ）れんばかりに商品がならび、お金を出せば必要なものを買うことができるのです。しかし、世界を見渡せば、そのような国や地域ばかりではありません。

それでは、心の面ではどうでしょうか。買い物に行けば、あれも欲しいこれも欲しいと思ったことはありませんか。そして、本当に必要な物以外の物を買ってしまった経験はないでしょうか。人間の欲望は果てしないものだと感じます。一つ手に入れれば十が欲しくなる。十を手にすると次は百。不需要かもと思っても、欲しいという衝動を抑えきれなくなってしまうのです。このような「欲しい欲しい地獄」に陥ってしまうと、今まで経っても心は満たされません。

「知足（ちそく）」という言葉があります。古代中国の思想家、老子の言葉です。「足るを知る者は富む」、つまり「必要な物を手にしたとき、これで十分だと考えることができれば心が豊かになり、幸せな気持ちで生きていく」ということを表しています。

だからといって、物欲を否定するつもりはありません。物欲は人の意欲にも結びつくからです。しかし、足るを知らない者は、いつまで経っても心が落ち着かないのも事実です。このことは、他の事象にも当てはまります。今、皆さんが何かに不満に感じているのなら、今一度考えてみてください。今の生活が本当に満たされていないのか、皆さんが求めるものが本当に必要なものなのかを。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

